



1. 製品及び会社情報

会社名：有限会社 パシフィック化学
 住所：〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-48-2
 電話：03-3986-1578 FAX：03-3971-2613
 作成/改正：2001 年 3 月 5 日/2016 年 7 月 19 日

整理番号 BR-1L・18L
 製品名 B & R 2 クリーナー
 物質の特定 混合物

2. 危険有害性の要約 — 単品成分記載 —

炭化水素系溶剤(別名：ソルベントナフサ、ナフサ、ライトアロマティック)



危険

GHS 分類	分類結果	危険有害性情報
引火性液体	区分 2	引火性液体の高い液体及び蒸気
皮膚腐食性/刺激性	区分 2	皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A	強い眼刺激
急性毒性(経皮)	区分 5	皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)
急性毒性(吸入:ミスト)	区分 5	吸入すると有害のおそれ(ミスト)
吸引性呼吸器有害性	区分 1	飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

3. 組成及び成分情報

化学名	CAS No.	国連番号	含有量	PRTR 法
炭化水素系溶剤	64742-95-6		80%	非該当
界面活性剤 (PFOS、PFOA 非該当)			20%	非該当
国連分類			: クラス 3	
労働安全衛生法(通知対象物質)			: 該当なし	
化学物質管理促進法(第一種及び第二指定化学物質)			: 該当なし	
毒物及び劇物取締法			: 該当なし	

4. 応急措置

— 製品 —

目に入った場合：直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
 皮膚に付いた場合：汚染された衣類靴などを速やかに脱ぎ捨てる。石鹸を使って大量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた時は、医師の手当てを受ける。
 大量に吸収した場合：直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静に努める。その後、医師の手当てを受ける。
 誤飲した場合：無理に吐かせず、医師の手当てを受ける。意識がない場合は、口から何も与えないで直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

— 製品 —

消火方法：火災の場合は、発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。消火作業は風上から行ない、消火者は安全確保の為に必要な保護具を装備する。水の使用は、火災を拡大し危険な場合があるので用いてはならない。
 消化剤：粉末、炭酸ガス・乾燥砂・泡消火器が有効です。

6. 漏出時の措置

— 製品 —

漏出液の着火源を取り除き、風下の人を退避させる。ウエス・おがくず・砂等に吸収させて密閉できる容器に回収する。漏出液が下水や排水溝に入らないよう又、地下へ浸透することのないよう適切な措置を講じる。回収作業を行なう場合には保護具を装着して、風上より作業を行なう。

7. 取扱い及び保管上の注意

— 製品 —

取り扱い：労働安全衛生法、消防法等の関連法規に準拠して作業すること。火気、静電気、衝突火花等による着火源の生じないように注意する。液の漏洩を防止すると共に、蒸気の発生を出来るだけ少なくする。接触・吸入防止の為に、保護具を着用する。
 保管：直射日光、着火源を避け密栓し、換気の良い冷暗所に保管する。容器の腐食を防止できる措置を講じ、床面は地下への浸透を防止できる材質とする。電気器具は防爆構造とし、裸電球等を使用しない。又、酸化性物質と共存させない。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度： ppm
 許容濃度： 日本産業衛生学会勧告値（1991） ppm
 A C G I H (1991) TWA ppm
 設備対策： 使用後は直ちにキャップを閉める。又は局所排気装置を設置する。
 取り扱い場所で使用する電気機具のスパーク等に充分注意し機器類は、
 静電気対策を講じる。
 保護具： 状況に応じ有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

- －製品－
 外観： 透明な液体 臭気： 特異な臭気
 比重： 0.89 沸点： 100 °C
 融点： -60 °C 蒸気圧： 2338 mm Hg (20°C)
 蒸気密度： 2.8 溶解度： 水；可溶
 P H： 7 有機溶剤： 可溶

10. 安定性及び反応性

- －製品－
 引火点： 53 °C 発火点： 260 °C
 爆発範囲： 0.6～10.5 vol% 安定性・反応性： 安定

11. 有害性情報

- 急性毒性： ラット 2,000 mg/Kg
 刺激性： 皮膚、粘膜を刺激する。
 感作性： 現在知見なし
 変異原性： 現在知見なし
 亜慢性毒性： 現在知見なし

12. 環境影響情報

- 魚毒性： ヒメダカ 96時間 LC50 4,000mg/l 以下
 分配係数： 現在知見なし

13. 廃棄上の注意

液が河川、下水に流失しない措置又、地下への浸透を防止できる管理を徹底する。
 本製品は産業廃棄物に該当する。処理を委託する場合は、廃棄物処理業の免許を
 持った業者へ、産業廃棄物管理票を添えて依頼する。

14. 輸送上の注意

関連規則を遵守する。消防法(第4類第2石油類 水溶性) 容器に漏れのない
 ことを確かめ、転倒、落下損傷がないよう積込み荷崩れの防止を確実に
 混載禁止物質との混載を避けるなど、安全を確保して運送する。

15. 適用法令

- －製品－
 労働安全衛生法： 引火性の物 有規則： 第3種有機溶剤
 消防法： 第4類第2石油類 非水溶性
 危険物船舶運送及び貯蔵規則： 引火性液体

16. その他の情報

引用文献等

- ① 化学工業日報社 : 12000 の化学商品
 ② 中央労働災害防止協会 : 有機溶剤作業主任者テキスト
 ③ 有機化合物事典 : 朝倉書店
 ④ 製品評価技術基盤機構
 ⑤ 安全衛生情報センター

販売商品仕様書

- | | | |
|-----------|--|------------|
| 特定品の場合の名称 | 消防法 表示義務 | 労安法 表示義務なし |
| 容器形態及び材質 | 1.8L×6入 | 18L缶 |
| 保管取扱の注意事項 | ① 印刷技術者以外の使用は、避けて下さい。特に幼児の手の届かない所に保管して下さい。
② キャップを開ける時 液が飛び出す事があるので充分注意して下さい。絶対に目や口に入れないで下さい。
③ 作業所は、換気を十分行なって下さい。
④ 液が皮膚に付いた時は、直ちに流水で洗い流して下さい。
⑤ 使用後は、キャップを必ずして下さい。 | |

* 記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。